

専門研修「建築設備（空調）」

【日 時】	令和4年1月19日（水）、20日（木）、25日（火） 9:00～17:00
【会 場】	特別区職員研修所、渋谷区役所
【受講者数】	44名
【講 師】	株式会社建物診断センター シニアアドバイザー 横手 幸伸 氏 株式会社日本設計 監理群 副群長 金子 英幸 氏 東京都 環境局 環境改善部 大気保全課 職員 東京労働局 中央労働基準監督署 職員 株式会社竹中工務店 東京本店 設計部 設備部門 専門役 設備担当 高志 学 氏 設備部 専門役 技術担当 田中 真 氏 東京消防庁 予防部 予防課 職員 東京都 都市整備局 市街地建築部 建築指導課 職員 渋谷区 財務部 施設整備課 職員
【研修内容】	<目的> 空調設備技術の最新動向、設計や関連法規などに関する専門知識を習得し、今後の公共施設における実践的な空調設備のあり方を学ぶことにより、職務遂行能力の向上を図る。 <内容> ①空調設備の基礎（講義） ②空調設備の設計（講義・演習） ③空調設備と関係法令（講義） ・空調設備とアスベスト （大気汚染防止法、改正石綿則） ・空調設備と消防法 ・空調設備と建築基準法 ④設備設計・施工に関する トラブル事例への対応（講義・演習） ⑤施設見学（講義・見学） <見学の様子>
【受講生の声】	・空調や換気方式の違いによるメリット・デメリットを学ぶことができました。 ・BCPなどの災害対策を踏まえた設計のポイントを知ることができました。 ・アスベストに関する法令について、発注者・受注者目線で学ぶことができました。 ・空調設備はトラブル事例から得られる情報が多いので、周囲との共有が大事だと感じました。 ・不燃区画や届出について、消防との協議が必要であることがわかりました。 ・換気設備においてどのような決まりがあるのかを知ることができて良かったです。 ・講義を受けた後、実際に見学することで空調設備について深い認識とすることができました。